南山大学社会倫理研究所シリーズ懇話会
「脳科学ブームを考える」

第2回懇話会
「脳ブームの正体」

藤田一郎（大阪大学大学院生命機能研究科教授）

「脳を鍛えるトレーニング」、「脳によい食べ物や習慣」、「脳がわかると異性がわかる」…

近頃は、脳にまつわる情報がメディアをにぎわせています。しかし、このような情報は、どの程度信頼できるのでしょうか。われわれは、信頼できる情報と、そうでない情報を、どのように見分ければよいのでしょうか。また、脳科学者は、現在の脳科学ブームについて、どう考えているのでしょうか。このシリーズ懇話会では、それぞれ異なる立場の3人のお話しを手がかりに、科学技術と社会の関係について考えていきます。

第2回は、昨年『脳ブームの迷信』（飛鳥新社）を出版されるなど、脳科学研究者の立場から近年の脳科学ブームについて積極的に発言をされている、大阪大学大学院の藤田先生をお招きして、専門家の観点から脳科学ブームの現状についてお話しいただきます。

日時　　2010年6月5日（土）　16時00分より
会場　　南山大学名古屋キャンパス本部棟3階第3会議室

＊参加申込不要です。学生、一般の方々の参加も歓迎です。

今後の予定：
第3回　6月11日（金）17時より「インチキ科学にだまされないために
　　ー批判的思考力と科学リテラシーとを身につける」楠見孝（京都大学大学院教育学研究科教授）

＊この件に関するお問い合わせは、南山大学人文学部（社会倫理学研究所第二種研究所員）鈴木貴之(takayuki@nanzan-u.ac.jp)までお願いします。
＊この懇話会は、科学技術社会論学会柿内賢信記念賞奨励賞による研究プロジェクト「ポピュラー脳科学の実態の分析と脳科学リテラシーの可能性にかんする研究」の一部です。